

日本会議 愛知県本部
〒464-0836
愛知県名古屋千種区菊坂町3-5-302 E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

TEL:052-763-4678 FAX:052-763-4588



あいち通信 第六十一号

皇太子殿下奉送迎 ～ 皇太子殿下御一家奉送迎

皇太子殿下におかせられましては、去る七月九日から十日の二日間、愛知県に行啓あそばされました。日本会議愛知本部は、会員並びに協力団体のご支援を得て、奉送迎活動を実施しました。名古屋駅太閤口にて、延八十名の方に御奉仕頂き、日の丸小旗の配布、歓迎横断幕の掲示を行うことができました。この活動を通して愛知県民の歓迎心が殿下にお伝え申し上げることができたと存じ上げます。誠にありがとうございました。

皇太子殿下御日程

九日 三菱重工工業(株)名古屋航空宇宙システム製作所 飛鳥工場御視察

十日 相山女学園中学、高校御視察、第五十回献血運動推進大会 御臨席

於愛知県芸術劇場
(文責・日本会議愛知本部事務局 南部文宏)



皇太子殿下御一家におかせられましては、去る七月二十八日から二十九日にかけて、伊勢神宮御参拝あそばされました。日本会議愛知本部は、同じく奉送迎活動を実施しました。近鉄名古屋駅地下改札口のJR乗換改札から五番線ホームにかけて御一家の御姿を拝することができましたことは誠にありがたいことでした。

(文責・日本会議愛知本部事務局 松川秀康)

名古屋北部地区会員懇談会開催

去る七月一日、名古屋北部地区会員懇談会がメルパルクなごやにて開催された。名古屋北部地区は衆議院議員選挙区愛知二区のエリアとなる。来賓に東郷哲也代議士を迎えて、三十名の参加者があった。議事では、憲法改正への三カ年構想が提起され、この地区での強力な運動推進が確認された。尚、同日をもって「名古屋北支部」の設立が宣言された。

(文責・日本会議愛知本部事務局 服部守孝)



名古屋西支部発会式 開催

去る七月十一日、名古屋西支部発会式がアパホテル名古屋錦にて開催された。西支部は衆議院議員選挙区愛知五区のうち中川区、中村区のエリアとなる。神田憲次代議士、浅井正仁名古屋市長を来賓にお招きしご挨拶いただいた。経過報告、役員発表、運動方針提起があり、参加者それぞれから抱負が述べられた。

今後は、定例会の開催、会員拡大、地方議員との交流などを柱に運動を展開して行くこととなった。就任された役員は、【顧問】村上弘【支部長】大川泰弘【副支部長】江場寛一【事務局長】松川秀康(敬称略) (文責・日本会議愛知本部事務局 服部守孝)

名古屋中支部定例支部会議 開催

●平成二十六年七月二十八日(土)十五時～十七時 ●株式会社ラケイ会議室

●議題【一、愛知本部活動】愛知本部事務局長 服部守孝

【二、名古屋中支部活動方針】支部長 八尾弘 (一)新年度目標 新規会員二十名 (本年度目標) 一人二名達成 (二)日本会議定例行事参加 二月十一日日本の建国を祝う会

五月三日 愛知憲法フォーラム 八月十五日英霊顕彰活動 十二月二十三日 天皇陛下ご誕生をお祝いする集い (目標) 参加者の勧誘 (三)定例会開催 (FK会議室) ①政経勉強会 講師 支部役員 ②支部講演会 ③各支部共同勉強会 ④外部活動 (ポスティング、署名活動) ⑤会員勧誘 (目標) 参加に意義 (四)護国神社奉仕活動 毎月第一日曜日

(五)友好団体及び支持議員応援 ① 友好団体への協力・李登輝友の会・竹田研究会愛知・もうひとつの戦争展(八月十六日)・救う会愛知 ② 友好議員選挙応援 三、定例支部勉強会 第一回演題「古事記から日本人を読む」講師 名古屋中支部幹事 高橋基

【四、その他】次回支部会議日 八月二十三日(土)十五時～十七時 会議終了後、参加者有志で会食会予定 (文責・日本会議愛知本部 名古屋中支部 支部長 八尾弘)

報告・名古屋東支部第十一回勉強会、街宣実施!

【第一部】●七月二十日(日) 午前九時～午前十一時四十五分 ●野並コミュニティセンター ●参加者数 六名(勉強会)テーマ:「安全保障法制と其の運用について」、座長 東支部長 江崎雅博: 昨今、話題の集団的自衛権にも関連します憲法解釈について正しい認識を身に付ける為の一助としまして「芦田修正」と「砂川事件」について江崎支部長の下、学びました。侵略戦争を否定した九条一項に続き、二項の冒頭に「前項の目的を達するため」の字句を加えることによつて自衛の為の戦力なら保持できるとした「芦田修正」、必要最低限度の自衛戦力は認められると解釈できる砂川事件の判決内容を理解し、集団的自衛権に関する解釈の根本的な誤解はどこを探り、私たちが今後どのようにして伝えていく事が重要かを学びました。

【第二部】街頭演説活動 ●同日 午後二時～四時 ●昭和区 御器所交差点南西角地 ●参加者数 四名(街宣)強い日差しの中、自主憲法制定について訴えさせていただきました。熱心に聞き入ってくださる若い男性がいっぱいいたりなど、少しずつですが私たちの訴えを伝えることができました。☆名古屋東支部では自主憲法制定に関して街宣活動にて訴えて欲しい内容を募集しております。メール(Kakikashi.katou@hotmail.co.jp 加藤貴之宛)までお気軽に「連絡の程、宜しく致します」☆

(文責・日本会議愛知本部名古屋東支部事務局長 加藤貴之)



「人殺しと罵られて」
元自衛官南部文宏の
手記(上)

昭和五十三年三月、私は十八歳で陸上自衛隊守山駐屯地に入隊しました。誰もが初めの三か月間は、自衛官としての基礎を学ぶ前期教育を受けます。その前期教育期間の講義で「質問した同期の隊員がいまし

「教官、憲法九条には日本は戦争はしない、武器は持たない」と書いてあります。戦車や銃は武器ではないのですか？自衛隊は憲法違反ではないのですか？」
恐れを知らぬ純真な若者の質問に、教官は優しく諭すようにこんな風に答えた。
「戦争をしないとは、侵略戦争はしないという意味です。自衛隊が保持する武器は自衛のための武器であって、侵略のための武器ではない。皆さんは心配せず立派な自衛官になって下さい。」なるほど九条はそのように解釈するのかと納得したものでした。

ところで当時は自衛隊に対する国民の理解は乏しく、新規隊員の確保は苦勞の連続だったようです。募集の為に防衛庁(現防衛省)が採った苦肉の策というのが、資格や技術が身に付く、貯金ができる、夜は学校に通わせてあげるといった利得を打ち出した広報活動でした。それと、街頭での強引なまでの勧誘。「君、仕事ある？自衛隊に入らんかね？」

地連(現地方協力本部)のおじさんから、突然声をかけられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私は六年に亘る現職期間中に休日、



普通に街を歩いていて通算四回も「君、自衛隊入らんかね」とやられた。必死の勧誘に感動を覚えたが、私が「ふー太郎」に見えたことには正直なところ憤慨した。

さて私は入隊と同時に、愛知大学車道校舎の夜間部に通い始めました。当時の愛知大学は左翼の巣窟で、通学初日の法学概論という講義で、山中という教授が次のように断じたのには驚いた。

「自衛隊は憲法違反である。軍隊に自衛を付けて自衛隊とし、軍艦に護衛をつけて護衛艦としてカモフラージュしているに過ぎない。即刻廃止すべきである」

え、憲法違反？どっちが正しいんだ。右足を合憲側に置き、左足を違憲側に置いたような不安定な足場にいる気分に陥った。こうして私の自衛隊生活は始まった。

事務局日誌(七月)
服部守孝

一日(火)
名古屋北部地区会員懇談会。来賓に東郷哲也代議士、松井良憲名古屋市長議員。参加者三十名。憲法改正運動三カ年構想を提起。本日も名古屋北支部の設立が了承された。
四日(金)
愛知県本部の重富亮会長より事務局に「台湾マンゴ」が届く。感謝合掌。

六日(日)
第五十八回愛知縣護國神社清掃奉仕。小牧市より二名の新規入会者が参加された。
七日(月)
事務局スタッフの南部さんと松川さんより、薄型テレビと3ドア冷蔵庫を寄贈いただいた。いままでも使用していたテレビと冷蔵庫は二十年物で故障したままだった。
九日(水)
皇太子殿下の行啓。名古屋駅にてお出迎いの小旗配布を行う。五十名のボランティアで千五百本を配布。
十日(木)
皇太子殿下行啓二日目。名古屋駅にてお見送りの小旗配布。三十名のボランティアで千本を配布。またご視察先の椋山女子学園でも、千種区町内会が奉送迎をされた。
十一日(土)
名古屋西支部発会式。来賓に神田憲次衆議院議員、浅井正仁名古屋市長議員。役員発表、運動方針提起、自己紹介と続きそれぞれから抱負が述べられた。
十二日(土)
第九回李登輝友の会愛知県支部総会。講師はマルチリンガルの台湾青年、李久惟さん。幼少時代に祖父より日本の素晴らしさを聞き、それが原体験となつて日台交流活動を行っておられる。

二十八日(月)
皇太子殿下、皇太子妃殿下、愛子内親王殿下の御行啓。近畿名古屋駅にてお出迎いの小旗配布。夜は戦争展全体会議に出席。
二十九日(火)
皇太子殿下、皇太子妃殿下、愛子内親王殿下の御帰京。近畿名古屋駅にてお見送りの小旗配布。

新規入会者紹介
(平成二十六年六月)

- ご入会ありがとうございました。
高橋哲生(議員会員)
昇永不動産株式会社(正会員)
江場正康(正会員)
愛知県遺族連合会(正会員)
森越 靖(正会員)
小田切勝(正会員)
小田紀子(支援会員)
加藤靖英(支援会員)
大橋兵二(支援会員)
高間明良(支援会員)
種別順入会日順 敬称略

愛知県護国神社清掃奉仕予定

- 9月7日(日)午前8時開始、9時終了予定。
- 引き続き10月5日(日)午前8時より実施予定。
- 軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社屋の木枠拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますので疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
- ★8月3日は、23名の方にご参加いただきました。また、2名の方に初参加していただきました。



(8月3日奉仕後に撮影)

●「日本の息吹」を引続きご購入させていただきますようお願いいたします。

会員種別と特典

	正会員	維持会員	篤志会員	議員会員	女性会員	支援会員
年会費	1万円	3万円	10万円	1万円	5000円	3800円
機関紙『日本の息吹』毎月送付	○	○	○	○	○	○
会員証発行	○	○	○	○	○	-
会員バッジ贈呈	🌸	🌸	🌸	🌸	🌸	-
書籍/DVD/カレンダー贈呈	-	○	○	-	-	-
メールマガジン	○	○	○	○	○	-

※会員番号およびパスワードを利用して、会員限定ページにアクセス可能です。
※支援会員の方は、会員限定ページにアクセスできない為、パスワードは発行されません。